

障害者福祉に関するアンケート調査

# 報 告 書

平成 29 年 3 月

川 越 市

# 目次

調査概要	- 1 -
調査結果 I. 身体障害者	- 5 -
調査結果 II. 知的障害者	- 61 -
調査結果 III. 精神障害者	- 107 -
調査結果 IV. 難病患者	- 145 -
調査結果 V. 施設入所者	- 181 -
調査結果 VI. 特別支援学校高等部3年生	- 201 -
調査結果 VII. グループホーム入居者	- 213 -
調査結果 VIII. 高次脳機能障害者	- 233 -
調査結果 IX. 発達障害者	- 255 -
資料編	- 289 -

# 調査概要

## 1. 調査目的

川越市障害者支援計画の見直しを行い、次期計画を策定するにあたり、障害者の生活上の課題・住民ニーズを明らかにするため市民意識調査を行い、その分析データを活用するものです。

## 2. 調査対象

対象者	抽出方法
身体障害者調査	身体障害者手帳所持者から 1,800 人を無作為抽出
知的障害者調査	療育手帳所持者から 450 人を無作為抽出
精神障害者調査	精神障害者保健福祉手帳所持者から 450 人を無作為抽出
難病患者調査	指定難病医療給付制度利用者から 400 人を無作為抽出
施設入所者調査	施設入所者全員 137 人
特別支援学校高等部 3 年生調査	特別支援学校高等部 3 年生全員 49 人
グループホーム入居者調査	グループホーム入居者全員 29 人
高次脳機能障害者調査	精神障害者保健福祉手帳所持者から該当者 20 人を抽出
発達障害者調査	精神障害者保健福祉手帳所持者から該当者 160 人を抽出

## 3. 調査時期

平成 28 年 9 月～10 月

## 4. 調査方法

身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、施設入所者、グループホーム入居者、高次脳機能障害者、発達障害者については、郵送配布・郵送回収により調査を実施した。特別支援学校高等部 3 年生については、学校を通じて配布・回収を行った。

## 5. 回収状況

調査区分	対象者数	有効回収数	有効回収率
身体障害者調査	1,800	1,010	56.1%
知的障害者調査	450	187	41.6%
精神障害者調査	450	223	49.6%
難病患者調査	400	222	55.5%
施設入所者調査	137	90	65.7%
特別支援学校高等部 3 年生調査	49	34	69.4%
グループホーム入居者調査	29	18	62.1%
高次脳機能障害者調査	20	8	40.0%
発達障害者調査	160	74	46.3%

## 6. 調査項目

- ・基本的な属性
- ・介助・援助の状況
- ・外出や余暇活動等の状況
- ・健康状態や医療について
- ・日中の過ごし方
- ・幼稚園・保育園・学校について
- ・雇用・就労について
- ・相談・情報入手について
- ・福祉サービスについて
- ・将来の希望
- ・災害対策について
- ・差別・疎外感、権利擁護について
- ・行政への要望等
- ・施設入所の状況 ※施設入所者調査のみ
- ・施設での生活状況 ※施設入所者調査のみ
- ・学校卒業後について ※特別支援学校高等部3年生調査のみ

## 7. この報告書における調査結果の見方

- ・調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は  $n=$  で示している。
- ・回答率(%)については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。
- ・回答には、単一回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも)の2種類がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は100%を超える場合がある。
- ・図表の間のタイトル及び、回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な間のタイトル及び、回答の選択肢は、調査票を参照されたい。
- ・回答者数が少ない結果については、表のみ掲載としている。
- ・自由回答を掲載する場合は、年齢・性別・障害者の種類(身体障害のみ)もあわせて掲載しているが、紙面の都合上、以下のように省略して表記している。  
「視覚障害」→「視覚」  
「聴覚障害」→「聴覚」  
「平衡機能障害」→「平衡」  
「音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害」→「音声」  
「上肢・下肢機能障害、脳病変による運動機能障害」→「上下肢」